

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎2月定例会審査結果（議案）

令和6年4月に開校する初の県立夜間中学校「まなびの森学園」の管理運営費、県内市町村のデジタル行財政改革を支援するための経費などを含めた「令和6年度鳥取県一般会計予算」のほか、鳥取市選挙区県議会議員補欠選挙の執行経費「令和5年度一般会計補正予算（第8号）」の専決処分、台風7号災害からの復旧に必要な建設技術人材の確保を図るため、60歳を超えても勤続する場合の時限的特別措置を設けた「職員の給与に関する条例」の改正など21議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎2月定例会審査結果（議案）

令和5年度一般会計補正予算等の先議議案3件、及び令和6年能登半島地震で木造住宅が多数倒壊したことを踏まえた耐震化の働きかけや耐震診断、耐震改修等に係る費用の一部を支援する事業のほか、子どもの医療費を無償化する事業、救急車を呼ぶか医療機関を受診すべきか迷った際に相談できる「とっとりおとな救急ダイヤル（#7119）」・「とっとり子ども救急ダイヤル（#8000）」を24時間365日実施する事業、中山間地域を支える医師などの人材確保に向けた事業などの令和6年度一般会計予算等16議案について慎重に審議をした結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

農林水産商工常任委員会



【半導体企業TSMCの工場建設地視察（菊陽町）】

◎2月定例会審査結果（議案、陳情）

昨年8月の台風第7号による小鹿第一発電所の各取水施設の被害により、県営水力発電所の公共施設等運営権の設定時期を当初議決から半年間延期するよう求める議案第58号や、新年度予算など19件の議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。また、新規提出の陳情1件を審査し、不採択と決定した。

◎県外調査（2/6～8：熊本県、鹿児島県）

熊本県では半導体産業の推進・誘致状況や高所得層・インバウンド誘客のための飲食店のレベル向上策等について、鹿児島県では宇宙ビジネス推進の取組状況やフラワーパークの集客策、指定管理制度の運用状況等を調査した。

地域県土警察常任委員会



【国際クルーズ拠点形成の取組を視察（那覇市）】

◎2月定例会審査結果（議案）

能登半島地震の教訓を踏まえた地震・津波対策をはじめ、災害に強い道路ネットワークの構築、買物環境・地域交通などの課題解決支援、ねんりんピック鳥取大会の開催経費等を含む「令和6年度鳥取県一般会計予算」など18議案について慎重に審査を行い、全て原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

◎県外調査（2/6～8：沖縄県）

コロナ禍を経てインバウンド需要が回復する中、訪日外国人の地方誘客が課題となっていることを踏まえ、2月に沖縄県を訪問し、那覇港における官民連携による国際クルーズ拠点形成の取組などについて、調査・意見交換を行った。